

4 児童の「できた!」「分かった!」の質を高める学習過程の一場面 (2/8時)

教師と児童のやり取りの詳細

学び合う段階において、重い卵がよく産まれたといえるのはどちらの小屋なのか、いろいろな観点で比べ、比べた結果の妥当性について検討していく場面。

12月10日に東小屋のにわとりが産んだ卵の重さ(g)

①53	②48	③58	④63	⑤65	⑥58	⑦53	⑧56
⑨58	⑩57	⑪60	⑫55	⑬67	⑭50	⑮62	⑯57

12月10日に西小屋のにわとりが産んだ卵の重さ(g)

①50	②63	③54	④74	⑤63	⑥45	⑦54	⑧67
⑨60	⑩47	⑪68	⑫52	⑬57			



どのような比べ方をしましたか?

いちばん重い卵の重さどうしを比べると、東小屋は67g、西小屋は74gでした。いちばん重い卵が産まれたことで考えると、西小屋の方だと思います。



いちばん重い卵で考えると西小屋の方といえますね。他の比べ方もありますね。

いちばん軽い卵の重さどうしを比べると、東小屋は48g、西小屋は45gでした。いちばん軽い卵が産まれたのも西小屋です。



いちばん重い卵は西小屋で生まれ、いちばん軽い卵も西小屋で産まれているのですね。この比べ方では、どちらの小屋で、重い卵がよく産まれたのかは分かりませんね。では、他の比べ方もありますよね。

産まれた卵の重さの合計で比べることも考えられます。東小屋の合計は920g、西小屋の合計は754gでした。重さの合計で考えると、東小屋の方だと思います。



今の比べ方を聞いて、何か意見がある人はいませんか?

重さの合計で比べると、東小屋が重くなって当然です。



卵の数が違うから、重さの合計で比べるのはおかしいと思います。



そうですね。産まれた卵の数が違うので、卵の重さの合計で比べることはできませんね。また、いちばん重い卵やいちばん軽い卵だけで比べることもできませんね。



では、重い卵がよく産まれたといえるのはどちらの小屋なのか、今までの学習を使って比べることはできませんか?

私は、卵の重さの平均で比べました。



平均を使うと比べることができるのですね。

はい。平均を使うと、産まれた卵の数に関係なく、卵1個当たりの重さの平均で比べることができます。東小屋は57.5g、西小屋は58gでした。重さの平均で比べると、西小屋の方が重い卵がよく産まれたといえると思います。



なるほど。いい考えですね。今の考えを説明できますか?隣の友達に話してみましょう。



- ・いろいろな観点で調べた結果を検討する際は、結果を検討していく順序を意図的に仕組むことで、平均を用いて結果を示すことのよさを実感させることにつながります。
- ・一部の児童の考えで進めるのではなく、学級全体に問い返すことを心掛けるようにします。そして、学習のねらいに迫る言葉や考えが発表された際には、隣の友達やグループで伝え合わせることで、考えを広げることや理解を促していくことにつながります。